

WSL環境構築

2018/4/19

そもそもLinuxってなんぞや

OS(Operating System)の一種

みんなが使ってる Windows や macOS も 数あるOSの一つ

iPhoneなどで使われている iOS

Android端末で使われている Android OS も仲間だよ

そもそもLinuxってなんぞや

元々持っている Windows じゃダメなの？

ぶっちゃけそれでもなんとかなる。

ソフトウェアを制作する側(我々)にとってはLinuxの方が都合が良い。

程度に思っていてください...

気になる人はGoogle先生に聞いてみよう！！

それとmacの人はこの講習会はガン無視でいいぞ！！！！！！！！

WSLってなんぞや

Windows Subsystem for Linux の略

仕組みとかはOS間をうんぬん、カーネルをうんぬん

簡潔に説明すれば

Windows上でLinuxを再現できる (すごい

LET'S準備

以前に WSL の前身 Bash on Ubuntu on Windows を入れてた人へ

コマンドプロンプトを起動して

```
lxrun /uninstall /full
```

って入力して前の環境にさようならをしよう。
ちなみに前環境はすべて消えます。気を付けてね。

homeとかいろいろ引き継ぎたい場合は
/full を消せばなんとかなった気がする。(調べてくれええええ)

LET'S準備

コントロールパネル開こう！



LET'S準備

コントロールパネル -> システムとセキュリティ->
プログラム -> Windowsの機能 -> WSLの有効化

コントロールパネル

← → ↓ ↑ コントロール パネル

コンピューターの設定を調整します



システムとセキュリティ

コンピューターの状態を確認
ファイル履歴でファイルのバックアップ コピーを保存
バックアップと復元 (Windows 7)



ネットワークとインターネット

ネットワークの状態とタスクの表示
ホームグループと共有に関するオプションの選択



ハードウェアとサウンド

デバイスとプリンターの表示
デバイスの追加



プログラム

プログラムのアンインストール

3



システムとセキュリティ

← → ↓ ↑ コントロール

コントロール パネル ホーム

• システムとセキュリティ

ネットワークとインターネット

ハードウェアとサウンド

プログラム

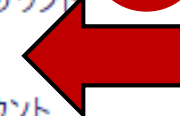
ユーザー アカウント

デスクトップのカスタマイズ

時計、言語、および地域

コンピューターの簡単操作

4



5



プログラムと機能

プログラムのインストールとアンインストール | Windows の機能の有効化または無効化 |
インストールされた更新プログラムを表示 | 以前のバージョンの Windows 用に作成
プログラムのインストール方法



既定のプログラム

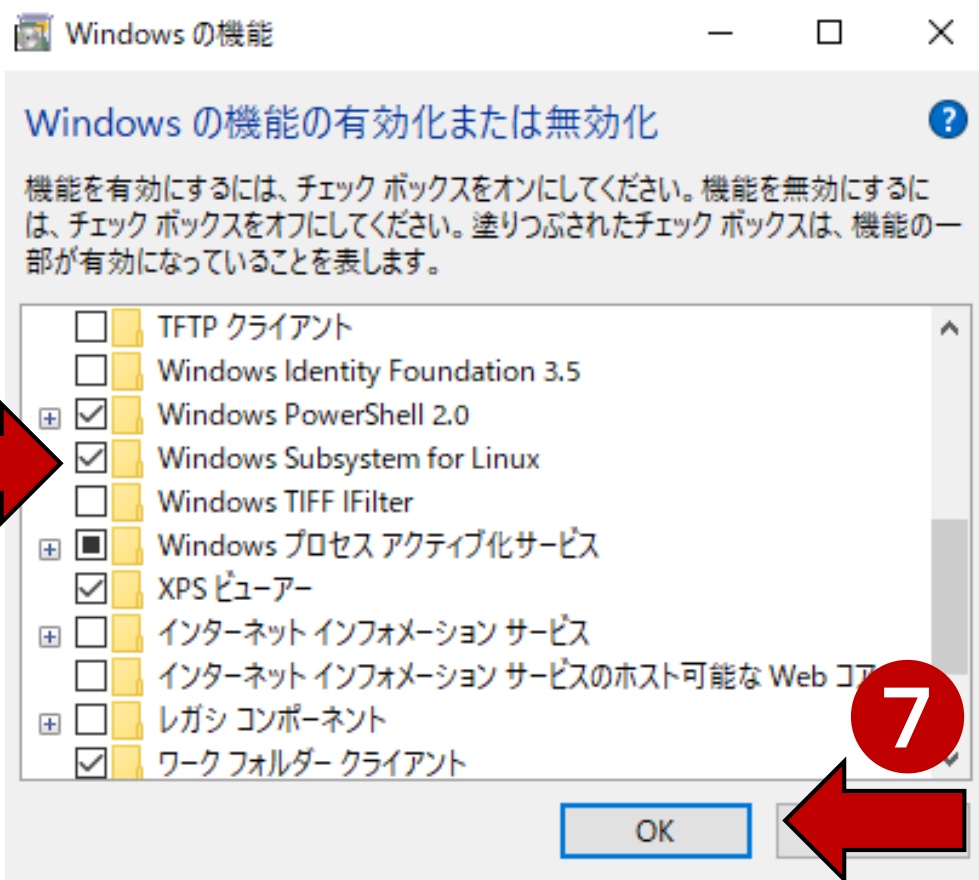
メディアまたはデバイスの既定設定の変更



Java

LET'S準備

コントロールパネル -> システムとセキュリティ->
プログラム -> Windowsの機能 -> WSLの有効化



チェックを入れて

6

8

今すぐ再起動をクリック

7

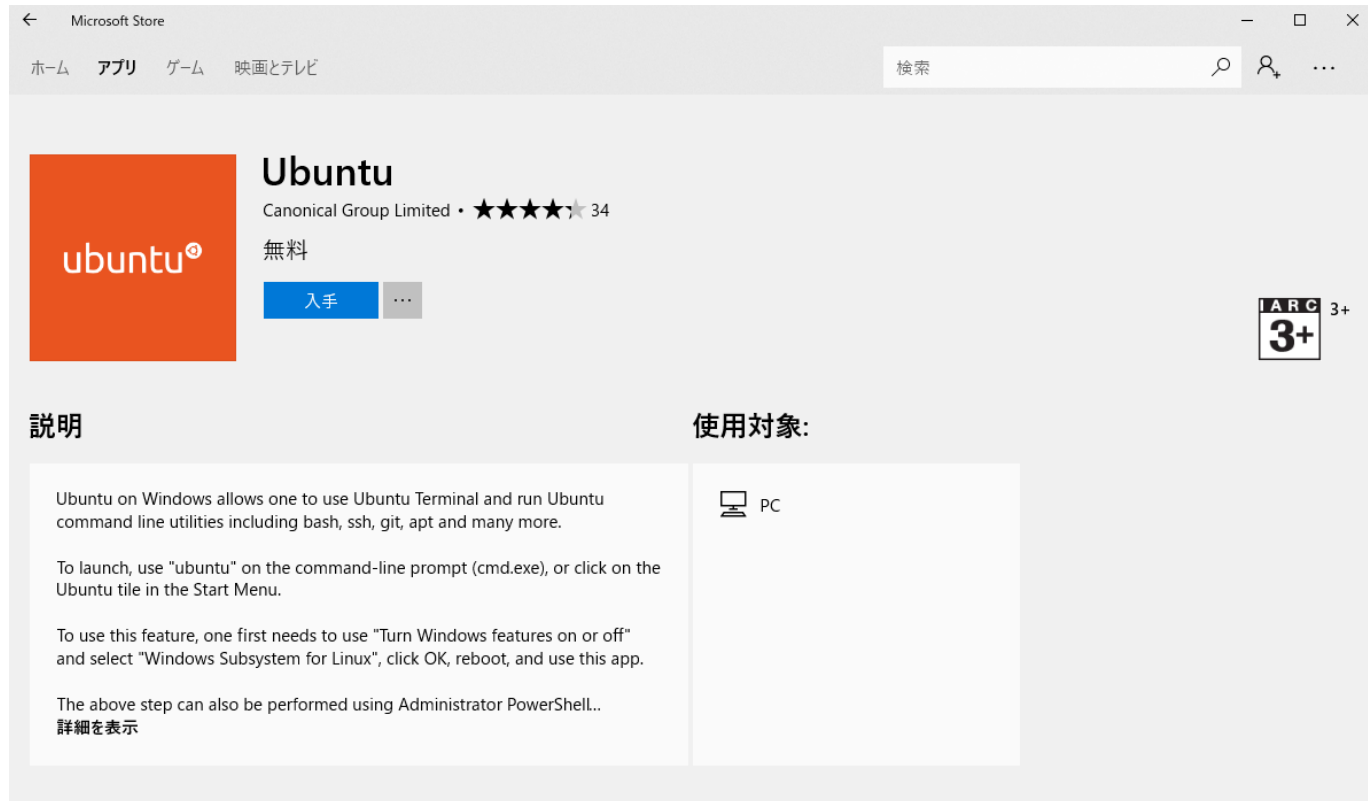
2018/4/19

LET'Sインストール

Windows Store を起動して 「Ubuntu」 で検索



「入手」をクリックしてインストール & 実行



LET'Sインストール

たしか Installing, ~~~~的なのがでてくる
画面にたくさん文字が出てくるまで待機！！

Enter new UNIX username : 好きなユーザー名(英数字記号)

Enter new UNIX password : 好きなパスワード(英数字記号)

Retype new UNIX password : もう一度同じパスワード

「自分のユーザー名@PC名:\$」が表示されてたら成功

☆インストール完了☆

まだ終われねえ！！！！

早速コマンドを打つ！！！！

`$sudo apt update` インストール可能なパッケージリストの更新

`$sudo apt upgrade` インストールされているパッケージの更新

なんちゃらかんちゃら[Y/n] が出てきたら有無を言わずに「Y」を押してね

`$sudo apt install build-essential` gccとかその他諸々のインスコ

なんちゃらかんちゃら[Y/n] が出てきたら有無を言わずに「Y」を押してね

